

プレスリリース



報道関係 各位

2019年6月11日



第11回JAかみつがウォーキング大会開催 ～鹿沼の魅力を再発見しよう～

JAかみつがは6月15日(土)10時から、JAかみつが本店を起点として、ウォーキング大会を開催いたします。このウォーキング大会はJAかみつがの「くらしの活動」の一環である「JA健康寿命100歳プロジェクト」として、ウォーキングを通して組合員をはじめ、地域住民にJAへの理解促進と新たなJAファンづくりをはかることを目的としております。第11回となる今回は、鹿沼市内を団体歩行し、寺社等を巡り鹿沼の魅力を再発見していただきます。

開催内容・日時は下記の通りです。ぜひ取材のご検討をお願いいたします。

- ・内 容 コース、見所等は別紙をご参照ください。
- ・日 時 令和元年6月15日(土)
 10時00分 開会式後出発
 12時00分 JAかみつが本店到着予定
 (到着後昼食を食べて終了といたします)
- ・参加者 20名程度
- ・会 場 JAかみつが本店 起点
 (鹿沼市鳥居跡町983-1)



【この件に関するお問い合わせ】

昨年の様子

取材にお越し頂ける際には事前にお知らせ下さい。

情報発信部署

総務部くらしの活動課 篠原

TEL 0289-65-1012

コースの見所

① さつき地蔵



巡礼街道の東武日光線の踏切りの南に「太田堂」で祀る「さつき地蔵」があり、この地蔵にまつわる哀れな物語があります。
石地蔵を安置し、1本のさつきを植えて供養しました。このさつきが老木となり「さつき地蔵」と呼ばれるようになりました。

④ まちの駅 新鹿沼宿



平成23年4月にオープン。案内所では鹿沼の旬な情報をゲット。かめそば「大越路」では、にらそばなど、自慢のそばで舌鼓。軽喫茶スペース「仲まち家」鹿沼和牛やとちおとめを使ったメニューでほっと一息。物産館では取れたて新鮮な地元産の農産物を販売。かめまブランドなどお土産物も揃っています。かめまを楽しみたいと思っただけならこへ。

⑦ 雲龍寺



浄土宗の寺院で、もと大門宿(上殿宿)にあったといわれています。山門を入って左手に「閻魔堂」があり、縁日(旧1月16日・7月16日)には賑わいました。本尊阿彌如来は、鎌倉の武将、宇都宮頼綱も参拝し、両脇には観音、勢至菩薩、さらに両翼には二十五菩薩が立ち並んでいます。檀家は鹿沼宿成立以来の旧家が多く、山口安良や鈴木石橋などの墓があります。

② 浅間神社



大正8年現在地にあった「諏訪神社」の境内に社殿を建設し、「浅間神社」と称し、「諏訪神社」を合祀しました。「諏訪神社」は「安産神社」ともいわれ、安産の神様として玉石を奉納する風習がありました。
拜殿には「大杉神社」の神輿が安置され、各戸廻りの渡御が行われてきました。浅間神社の祭日は11月23日に大杉神社の境内祭りと共に行われています。

⑤ 神明神社



「神明神社」は下材木町の氏神で、「巡礼街道」の出流道と石裂道の分岐点があります。祭神は天照大神で、例祭は4月19日。境内には、男体山や白雲山の碑があり、また、男体山の碑は、力士の「歌が浜斧吉」の建碑。神社の東に屋台蔵があります。

⑧ 白山神社



「白山神社」は蓬萊町の氏神。本社は石川県白山市に鎮座する白山比咩神社で、御祭神は「イザナギ・イザナミ」の神で農耕の神。祭日は今宮神社の例祭と同じ10月に行っています。

③ 北向地蔵



西鹿沼町自治会館の西に「北向地蔵」がありますが、北向きに祀られていることから名付けられたものとも言われています。
境内には、宝暦9年(1759)銘の十九夜観音の石像があることから、古くから信仰されていたと思われる。縁日の秋の彼岸(中日)には、子供の成長を願って子供相撲などが行われ、参詣の人出で賑わいます。

⑥ 薬王寺



真言宗智山派の寺院で弘長年間(1261~1264)の創建といわれています。徳川家康が元和2年(1616)4月17日に死去、翌3年3月久能山から日光山に改葬されたとき、遺骸がこの寺に4日間逗留し、それらを記録した「渡御之記」が寺宝としてあります。
本堂向拝・欄間には石塚知興の彫刻や、刀匠として有名な細田家の墓などもあります。

